

### 横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。

### 洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの?

こちらの図の洪水浸水想定区域の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で332mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

(一部、帷子川水系の想定し得る最大規模の降雨(24時間で390mm)も含まれます。)

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。

※1 神奈川県ホームページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4/cnt/f3747/p1039490.html>

※2 横浜地方気象台ホームページ  
<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>

## 中区洪水ハザードマップ

### 洪水浸水想定区域(想定最大規模)

大岡川水系河川：大岡川、中村川、堀川  
 帷子川水系河川：帷子川、石崎川

この洪水ハザードマップは、大岡川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。

### 想定条件

大岡川水系：24時間で332mmの降雨  
 帷子川水系：24時間で390mmの降雨

### 凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

10.0~20.0m未満	※10.0m以上、10m以上の水深に達する
5.0~10.0m未満	※5.0m以上、5m以上の水深に達する
3.0~5.0m未満	※2階分まで浸水する家
0.5~3.0m未満	※1階分まで浸水する家
0.0~0.5m未満	※おたのびで浸る水深

◎避難する際に注意する箇所

避難所等指定区域(河川等)	避難所等指定区域は、避難所等指定区域の指定により、この区域が指定されています。大雨時に雨水が急激に集中し、浸水して安全な通行に支障をきたす可能性があります。浸水の進行状況にご注意ください。
アンダーパス	急激な浸水の発生により、浸水して安全な通行に支障をきたす可能性があります。浸水の進行状況にご注意ください。
土砂災害警戒区域	急激な浸水の発生により、浸水して安全な通行に支障をきたす可能性があります。浸水の進行状況にご注意ください。
土砂災害特別警戒区域	急激な浸水の発生により、浸水して安全な通行に支障をきたす可能性があります。浸水の進行状況にご注意ください。

◎内水ハザードマップの浸水深とは、浸水開始時を指します。

◎避難する際に注意する箇所

都府庁界	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町界	避難場所
J R線・駅	主要道路
私鉄線・駅	水辺監視所
市営地下鉄線・駅	河川監視カメラ
	下水道事業計画区域*

No.	避難場所	所在地	位置	No.	避難場所	所在地	位置
1	上野池	本町2-64	F-4	1	横浜吉田中学校	花坂町3-64	D-3
2	大田池	本町1-29-1	F-4	2	本牧南小学校	本牧元町44-1	G-6
3	大島小学校	本町1-251	F-5	3	本町小学校	花坂町3-86	C-2
4	山元小学校	山元町3-152	D-5	4	本町小学校	花坂町3-86	C-2
5	みなと総合高校	山下町231	D-9				

### 風水害時における避難場所について

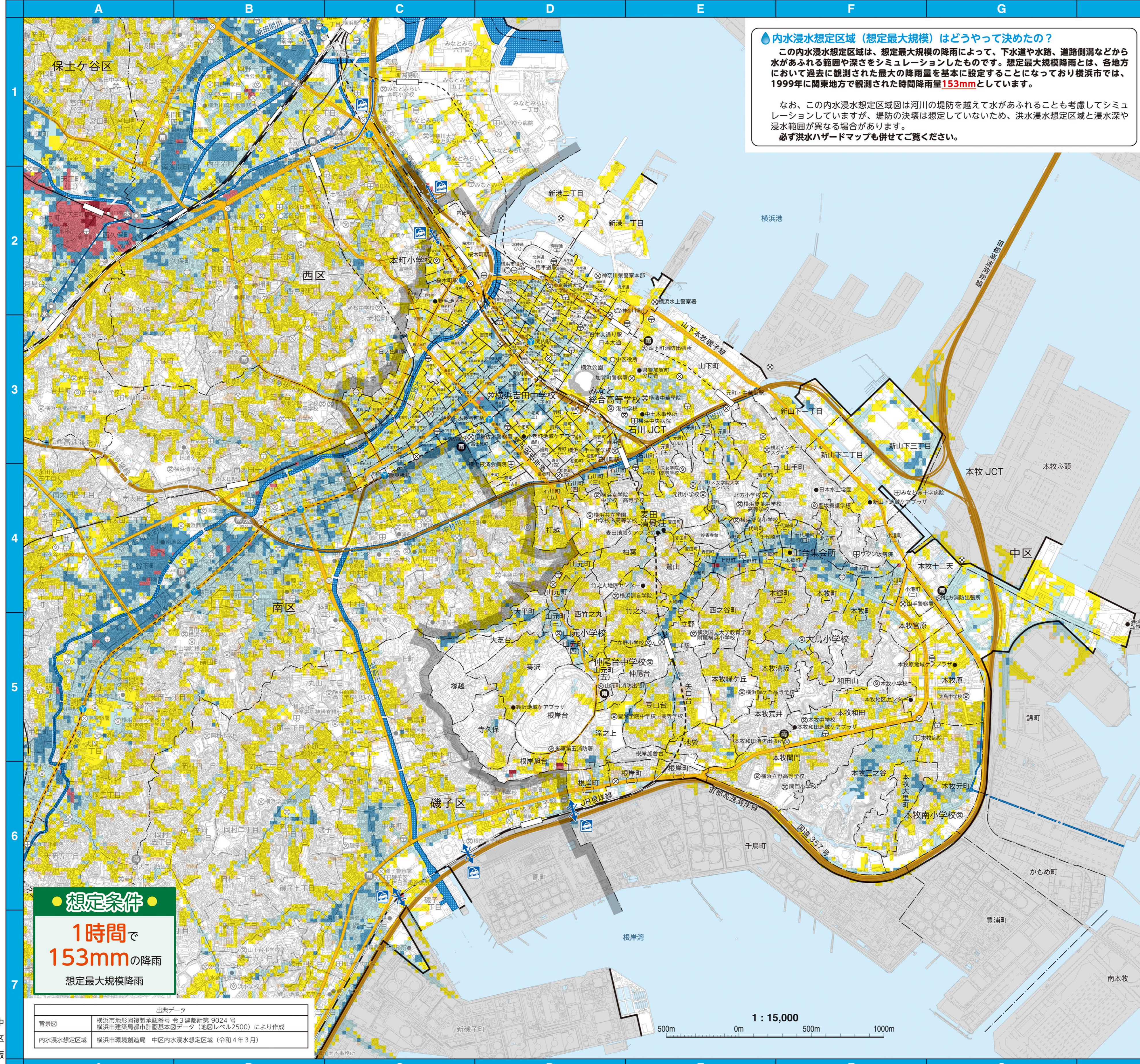
災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合があります。避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

2か所以上の避難場所へ避難できる場合、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

すでに浸水が始まっている場合には無理に避難場所へ移動せず、浸水していない高いところに避難してください。

なお、中区では浸水時の避難場所として、下記に示した避難場所を災害の状況により開設します。

中区版



### 内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの?

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域は河川の堤防を超えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していません。洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。

必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

## 中区内水ハザードマップ

### 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えと対策をとっていただくために作成したものです。

※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

### 凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

2.0m以上	※2.0m以上の水深に達する
1.0~2.0m	※1階分まで浸水する家
50cm~1.0m	※1階分まで浸水する家
20~50cm	※床下浸水相当
2~20cm	※道路冠水相当
2cm未満	※道路冠水相当

◎避難する際に注意する箇所

都府庁界	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町界	避難場所
J R線・駅	主要道路
私鉄線・駅	水辺監視所
市営地下鉄線・駅	河川監視カメラ
	下水道事業計画区域*

### 想定条件

1時間で153mmの降雨  
 想定最大規模降雨

No.	避難場所	所在地	位置
1	上野池	本町2-64	F-4
2	大田池	本町1-29-1	F-4
3	大島小学校	本町1-251	F-5
4	山元小学校	山元町3-152	D-5
5	みなと総合高校	山下町231	D-9

中区版